

平成 22 年度小松川大会・大会要項

1. 本大会は、トーナメント方式とする。
2. 試合は 7 回戦とし、1 時間 45 分を過ぎたら新しいイニングに入らない。
ただし、決勝戦は 7 回戦で時間無制限とする。(コールドゲームは適用)
3. 7 回終了、又は時間切れ同点の場合は、サドン方式を採用する。
サドン方式は、無死満塁のサドン方式(最終メンバーの継続打順)により 1 イニング行う。なお、同点の場合は再度サドン方式を行う。2 回行っても勝敗が決定しない場合は、最終メンバー 9 人の抽選により決定する。
4. コールドゲームを採用する。
本大会は、3 回 15 点・4 回 10 点・5 回 7 点差以上でコールドゲームとする。なお、強風・降雨・日没等の場合は 4 回にて試合成立とする。
5. ベンチ入りは、代表者、保護者代表、監督、コーチ 2 名、スコアラー 1 名、選手は 20 名とする。
また、ベンチは抽選番号の若い番号を 1 塁側とし、先行・後攻はジャンケンにて決定する。
6. 試合前の、守備練習を後攻のチームより 5 分間交代で行う。
7. チーム応援は、所定の場所で行う。
8. 抗議権は、当該選手及び監督とする。
9. 選手登録
 - ◎ 登録は、選手 20 名以内とし背番号は 27 番以内とする。監督は 30 番、主将は 10 番とし、コーチは 28・29 番を付けること。
 - ◎ 選手及び監督コーチは、ユニホーム・スパイク・帽子・ストッキングは統一したものを着用すること。
 - ◎ 試合開始 40 分前までに集合し、開始 30 分前までに大会本部にメンバー表を提出すること。
10. 参加チームは、単独チームとし、一切の補強を認めない。
 11. ヘルメットは、必ず 8 個以上用意すること。また、捕手用用具(JSBB)は必ず着用すること。
 12. 金属バットは、全軟連公認(JSBB)のものに限る。
 13. 試合中の選手交代は迅速に行うこと。また、ランナーコーチは選手とする。
 14. ランナーコーチは、ベンチからヘルメットを着用してコーチャースボックスへ行くこと。
また、ボールボーイもヘルメットを着用すること。(審判へのボール渡しは着帽のままでよい)
 15. 投球練習の際、キャッチャーは必ずマスク・捕手用用具を着用すること。また、2 回以降のキャッチャーの声かけは、定位置で行うこと。(ただし、最終回は除く)
 16. 上記に記載されていない方法と規則は、全軟連規則を準用し、特別ルールは本連盟にて決定し実行する。
 17. 特記：ベンチ等での声援については、子供たちのお手本となるようにすること。
また、グラウンド周辺での禁煙の徹底と、ごみ等は必ず持ち帰ること。